

# 市議会だより No.4

平成19年2月15日



もくじきぶつ  
防府の木喰仏

## 12月定例議会

議案の概要

P 2 ~ P 3

視察報告

P 11

一般質問

P 4 ~ P 9

議会日誌

P 12

一般・特別会計決算特別委員会の報告

P 9

3月定例議会の予定

P 12

常任委員会の報告

P 10

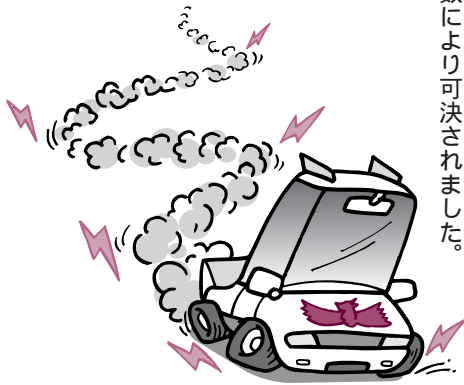
# 平成18年 12月 定例議会

## 条例

暴走行為等の根絶の促進に関する条例の制定(議員提案)

暴走行為等の根絶を促進し、市民生活の安全と平穏を確保し、少年の健全育成に寄与するため、条例を制定するものです。この条例は、道路交通法で取り締まられなかった公園、駐車場、広場などの公共の場所において、暴走行為等を禁止するもので、違反すると5万円以下の罰金が科せられます。また、公共の場所において、暴走行為等の目的で集合したり、暴走行為等の勧誘や強要なども禁止されます。(4月1日施行)

「類似条例を制定しているほとんどの市が規定しているように、行政的手法が効果的と考え、罰則による規制には、疑義がある。」との理由により、保護者の責務と罰則を改める修正案が提出されましたが、賛成少数で、否決となりました。引き続き、原案について採決をし、賛成多数により可決されました。



職員退職手当支給条例の一部改正

国家公務員に準じて市職員の給与と制度、退職手当制度の構造の見直し等を行うものです。主な内容は、給与表の水準を平均4.8%引き下げ、勤務実績をきめ細かく反映させるためのものです。

退職手当については、支給率を段差の少ない緩やかなカーブにし、一定期間の職務内容に応じた調整額を新設するものです。

「市職員の給与水準の引き下げは、民間給与との引き下げの引き金になり、地域経済に与える影響が大きい。」として反対意見がありました。賛成多数で可決されました。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

平成9年7月以来据え置いていた廃棄物手数料を次のように4月1日から改定するものです。(一般家庭のごみ処理手数料は現行通りです。)

- 家庭系廃棄物を臨時の申し込みにより市が収集する場合(100kgごと)
  - 1,800円
  - 2,500円
- 事業系一般廃棄物を申し込みにより市が定期的収集する場合(45ℓ袋・月額)
  - 1,200円
  - 1,600円
- 事業系廃棄物を事業者が自ら市の処理施設に搬入する場合(100kgごと)
  - 370円
  - 550円
- 焼却処理施設へ搬入の場合(20kgごと)
  - 370円
  - 550円

最終処分場へ搬入の場合(100kgごと)
 

- 610円
- 850円

犬猫等動物の死体を申し込みにより市が収集、運搬する場合(1体につき)
 

- 1,400円
- 1,800円

各種許可申請手数料

6,500円

7,000円

許可証の再交付

1,000円

1,400円



## 人事・一般議案

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了にともない、山本好子さん(大字新田)が新任、笠原高六郎さん(国分寺町)、中谷安彦さん(大字台道)が引き続き再任されました。

監査委員の選任

大木孝好さん(大字新田)が任期満了となりますが、引き続き再任されました。

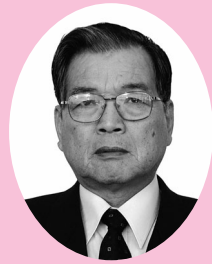
12月定例議会は、12月4日～21日の会期18日間で行われました。

平成18年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、暴走行為等の根絶の促進に関する条例の制定、廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正、平成17年度一般・特別会計決算の認定など議案12件、認定1件、選挙3件、選任5件、承認1件、許可1件、報告3件が審議され、原案どおり可決されました。

正副議長選挙により、議長に<sup>ゆくしげのぶあき</sup>行重延昭議員、副議長に<sup>かわすぎけんじ</sup>河杉憲二議員が選出され、また、常任委員会等の選任(次頁の表)も行われました。

主な議案等とその審議経過の概要をお知らせします。

正副議長就任あいさつ



議長  
行重 延昭



副議長  
河杉 憲二

昨年12月4日の市議会定例議会において、私どもが議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、その重責を痛感いたしております。本市の発展と住民福祉の向上のため、誠心誠意努力いたす所存でございます。

さて、時代は変化していく中、議会の果たすべき役割と責任はますます重要になってきており、市民の皆様への負託に十分お応えできるよう決意を新たにいたしております。市民の皆様へ、今後一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。ごあいさついたします。

議会運営委員会の委員名（任期1年）

委員名（委員長、副委員長）	委員数	所管事項
馬野昭彦 三原昭治 大村崇治 河村龍夫 原田洋介 弘中正俊 深田慎治 藤本和久 山根祐二 山本久江	10	議会の運営に関する事項 議長の諮問に関する事項等

常任委員会の委員名（任期2年）

委員会	委員名（委員長、副委員長）	委員数	所管事項
総務	安藤二郎 三原昭治 伊藤 央 今津誠一 高砂朋子 田中敏靖 藤野文彦 松村 学	8	企画・財政・税務・消防 ・競輪・選挙など
教育民生	弘中正俊 斉藤 旭 河杉憲二 河村龍夫 木村一彦 田中健次 藤本和久 山根祐二	8	戸籍・国保・年金・生活 ・健康・福祉・教育など
経済	重川恭年 原田洋介 佐鹿博敏 中司 実 深田慎治 山下和明 山本久江	7	労働・商工・観光・農林 ・水産・市場など
建設	山田如仙 横田和雄 馬野昭彦 大村崇治 久保玄爾 平田豊民 行重延昭	7	都市計画・上下水道 ・住宅・道路・公園など

公平委員会委員の選任

安井達雄さん（新橋町）が任期満了となりますが、引き続き再任されました。

山口県後期高齢者医療広域連合の設立老人保健法が改正され、平成20年4月から導入される後期高齢者医療制度に関する事務を処理する山口県後期高齢者医療広域連合を設立するものです。

「75歳以上の高齢者を一般の保険から切り離して運営することになり、高齢者の負担増になる。診療報酬が見直しされ、医療費抑制の懸念がある。」など反対意見がありました。賛成多数で可決されました。

予算

平成18年度一般会計補正予算  
平成18年度特別会計補正予算

平成18年度一般会計予算総額に、歳入歳出それぞれ1億9、198万7千円を追加しました。内容は、国府跡発掘調査事務所の遺物を旧図書館へ搬入するための補正などで、原案どおり可決されました。これにより平成18年度の一般会計予算は、369億7、823万8千円となりました。

また、国民健康保険・公共下水道事業特別会計補正予算の2会計については、いずれも原案どおり可決されました。補正予算（一般・特別会計）のより詳しい内容等については、10ページをご覧ください。

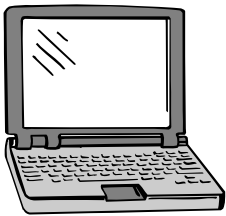
# Q&A 一般質問



12月定例議会では、15名の議員が市政をたずねました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を2月下旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、議会だよりの原稿は、議員本人が作成したものを掲載しております。



ノートブック型  
シンクライアント

**問** 防府市においてはあと2年で汎用機のリース契約が切れますが、サーバ系(オープン系)への移行も含めて今後どのように対処される予定でしょうか。

**市長** オープン系へのシステム移行につきましては、運用経費の節減が図れるなどのメリットが認められる反面、システム移行での正確性や経費など、今後さらに検討を行っていくべき多くの課題も出てきており、さまざまな観点から検証が行われている段階です。その中で「民間の技術者も含めたプロジェクトチーム」の設置について検討することも考えております。

**問** 新体育館の基本計画

の仕様については、教育次長 主要構造は鉄筋コンクリート造1棟2階建て、延べ面積1万㎡から1万2千㎡、内部はメインアリーナ、サブアリーナを基本に、トレーニングルーム、事務室、会議室、控え室などとなっています。工事費は33億円から35億円と仮定しております。建設スケジュールは、平成18年度で基本構想、基本設計、平成19年度で実施設計、平成20年度着工、平成22年度中にオープンの予定としております。また今回の構想では、ただ単に競技スポーツができるだけでなく、健康志向のトレーニング室やお子様同伴でも育児兼用プレイルーム、個人で気軽に楽しめる常設の卓球室の設置など、市民のスポーツの場、憩いの場として生まれ変わることとしています。

## 「電算機の汎用機からサーバ系への移行」について

安藤 二郎(みどりの会)

## 地方分権時代に向け職員研修の強化を

伊藤 央(息吹)

**問** 地方分権が推進され、今後多くの権限が国から地方に移譲されると、それらの権限を扱う職員の能力の向上、専門知識が求められます。そのため職員の研修が非常に重要になりますが、現在市ではどのような職員研修を行っていますか。

**市長** 職員個々の能力向上や時代の変化に対応できる人材の育成をめざし、計画的に職員が職務遂行上必要とされる能力、新たな課題への対応に必要とされる能力の向上に取り組んでいます。

**問** 政策立案能力や、業務能力を高めるために採用後一定期間を経過した者に、専門的な知識を習得させるため、大学や大学院、シンクタンクなどで1〜2年間の研修を行う「ミッドチーム・キャリア」を、わが市でも取り入れるにはいかがでしょうか。

**市長** 県や自治大学での

研修、市町村職員中央研修所などでの2週間程度の研修を実施していますが、ミッドチーム・キャリアの導入は今後の課題にしたいと思えます。

**要望** 計画では今後、職員数は減らしていくことになっていきます。しかし、仕事の量は増え、また市民のニーズも多様化していく傾向にあります。この流れに対応するため全国的に市町村合併が行われたわけですが、その手段を放棄したわが市としては、是非優秀な人材を育てるための努力をお願いいたします。

その他の質問項目  
法務局防府支局の統廃合について



## スクールカウンセラー増員へ 古いごみ収集車の更新を

木村 一彦（日本共産党）

**問** 防府市におけるいじめの実態は？

**教育長** 平成17年度は小学校10件、中学校38件です。解消率は小学校100%、中学校84・2%です。

**問** 教師の多忙化がきめ細かい対応を妨げているようですが、対策は？

**教育長** 現在、スクールカウンセラー配置が12校、未配置が16校あるの

で、これの増員および「少年安全サポーター」の増員を県に要望しています。市独自に「生活・安心相談員」の複数配置や学校支援員の増強も検討しています。

**問** 子どもたちの強いストレスが、いじめの根底にあるといわれるが、競争主義と管理主義をさらに強める教育基本法の改定は、いじめ克服に逆行

するのでは？

**教育長** 教育の憲法ですから、これを変えることの影響は大きい。もっと時間をかけて検討してもらいたいと思います。

**問** 市のごみ収集車は10年以上のものが多く、極端に耐用年数を過ぎたものは安全上買いかえるべきだと思いませんか？

**市長** 平成6年購入が1台、7年が2台、8年が3台と続き、最も新しいものが平成12年の6台です。使えるだけ使っていく方針です。



休み時間に元気に遊ぶ子どもたち

## 地方分権が進み自治会の役割が重要である 現実に即した支援を

大村 崇治（明政会）

**問** 本市の自治会保険は各自治会ごとが加入し、その一部を市が助成している。先進市では市民がまちづくりに安心して参加できるように、市民活動保険を導入している。一元化することにより市民との協働に向けた費用対効果が生じ、真の行政改革ではないか。

**市長** 自治会活動と市民活動を一本化した総合災害補償保険制度について先進市の状況を参考にし自治会連合会とも協議検討してまいります。

**問** 地区集会所の新築、改修等に対する補助金については、平成3年に改正されたもので県下9位。高齢化が進み、地域のコミュニティの場所として、「中古住宅」の購入も含め、時代にあつた補助金の増額をすべきではないか。自治会が設置し維持管理する公共街路灯電気料の3か月分を市が

助成しているが、ほとんどが県道・市道に立っており道路安全対策上からしても道路管理者が負担すべきではないか。

### 市民活動総合補償制度



**市長** 地区集会所の中古住宅の買取については平成19年度から補助の対象とした。防犯灯電気料の助成は県内では3市のみ。地域の要望等を考慮し自治会連合会とも協議検討してまいります。

**その他の質問項目**  
都市公園の整備充実について  
危険遊具撤去後の補充と子どもも遊べる高齢者向け健康遊具の導入を

いたしました。なお、教師による児童・生徒へのいじめの報告は受けておりません。

**問** いじめを苦しめた痛ましい事件が続いています。市教委は、これらの事件を受け、水平展開をされたと思いますが、その内容を聞かせてください。また、いじめ問題に対する基本的な考えを聞かせてください。

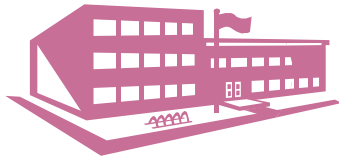
**教育長** 児童・生徒の心をつかんだ対応や指導を通して、命の大切さの指導を核とした心の教育を充実、強化されるよう、市内の全小・中学校へ指導いたしました。また、校長・教頭との個人面談の際に、いじめ問題への徹底した対応を直接指導

いたしました。また、校長・教頭との個人面談の際に、いじめ問題への徹底した対応を直接指導

紹介し、いじめの被害者の立場にたち、被害者が泣き寝入りするのではなく、加害者に対し、出席停止などの処分を含めた毅然とした対応が必要ではないかと要望しました。

**その他の質問項目**  
留守家庭児童学級

茨城県筑西市立下館中学校のスローガン  
いじめをしない・させない・許さない  
そして、君を守りたい



## いじめ問題への対応

藤本 和久（みどりの会）

いたしました。なお、教師による児童・生徒へのいじめの報告は受けておりません。

いじめ問題の対応は、教師自身の人権意識の高揚やいじめに関する危機管理体制の充実等の指導をしてまいりました。本市では、いじめの早期発見のために、スクールカウンセラーなどの相談体制の充実を図るため、山口県教育委員会に増員を要望しているところでございます。

**要望** 茨城県筑西市立下館中学校が生徒会活動でいじめをなくした事例を紹介し、いじめの被害者の立場にたち、被害者が泣き寝入りするのではなく、加害者に対し、出席停止などの処分を含めた毅然とした対応が必要ではないかと要望しました。

**その他の質問項目**  
留守家庭児童学級

留守家庭児童学級

### エコドライブ普及、啓発は？ 留守家庭児童学級の時間延長を

山根 祐二(公明党)



エコマーク

**問** 環境省が「京都議定書目標達成計画」を発表し、その中に「環境に配慮した自動車使用の促進」があるが市の推進活動はどうか。

**市長** エコドライブの普及は、地球温暖化のみならず、自動車から排出される窒素酸化物等の削減につながり、大気汚染対策に寄与する。

**問** 普及啓発活動については環境基本計画の概要版を全戸配布し、環境家計簿のなかで具体的な取り組みと効果を記載する。今後、ホームページや市広報で啓発していく。

**市長** 地球温暖化防止に対する意識向上を図ることが必要なので看板の設置を考えていく。

**問** 公用車へのエコカー導入はどうか。

**市長** 公用車の更新については経済性、環境保全に考慮し、アイドリングストップ装置については検討していく。

**問** 留守家庭児童学級の終了時間延長はできないか。

**健康福祉部長** 児童の安全や施設管理の面から保育時間の延長は考えていない。保護者の就労状況の違いによる午後5時以降の迎えの時間については検討したい。午後5時以降の保育はファミリーサポートセンターを利用してほしい。

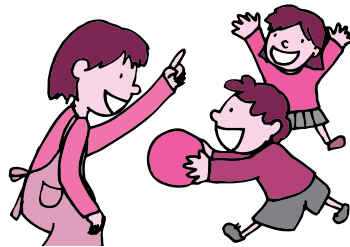
**その他の質問項目**  
小中学校のトイレの洋式化について

### 特別支援教育の充実について

今こそ一人ひとりを大切に  
する教育を

高砂 朋子(公明党)

**問** 平成17年4月に施行された発達障害者支援法は、高機能自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥/多動性障害、学習障害等の発達障害を持つ本人・家族の支援のためのものです。一人ひとりのニーズに応じた教育課程の充実や、発達段階に応じたきめ細やかな相談、支援の体制づくりが必要で、就学前支援の充実について



**問** 就学後支援の充実について

**健康福祉部長** 発達障害児の早期発見早期療育支援のための施策は？

**5歳児発達相談を全市的に実施しては？**

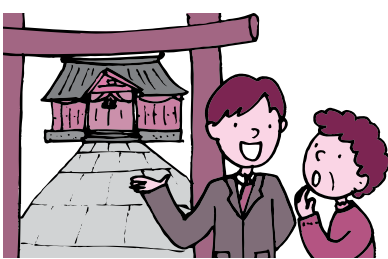
**保育士等への研修体制は？**

**健康福祉部長** 集団健診や個別で相談に応じており、保護者や関係機関との連携で育児支援を継続、5歳児発達相談は考えておりません。研修は充実するよう助言したい。

**問** これまでの行財政改革で、市債残高や人件費等の減少など一定の成果はでていますが、経費の削減に努められても、ある程度限界があります。これから都市間競争がますます激しくなるといわれており、それを勝ち抜いていくためには、いかに税収をあげるか、すなわち「どれだけの人にまちに来ていただくか」ということを考えていかなければならない。市を売り出していくために、「市長特命プロジェクトチーム」を創設して重要施策に取り組んでみてはどうか？

### 積極的な施策の展開を スペシャリストの育成を

原田 洋介(息吹)



観光などの分野にスペシャリストを！

**問** 現在2、3年から4、5年で市職員が部署を異動するのが一般的だが、よりよい行政サービス、よりよい施策の実現のために、長期的な視野に立って、戦略的に人材育成また人材開発を進めていくべきではないか？

**総務部長** 入所10年間は3年程度の早めの人事異動で多くの職場を経験できるようにしている。電算業務や法令、国際交流などは検討課題も多く今後研究の必要がある。

**市長** 今後施策の推進状況や必要に応じて検討したい。

**要望** 民間企業でもしっかりとした経営理念を持つて経営している。そうしなければ勝ち残ることができない。行政経営も同じである。ただ「守る」

### 急がれる平常時の災害予防対策

山本 久江（日本共産党）

- 問** 自治体の防災施策の要となる地域防災計画。その内容は、市防災会議で毎年検討されているが、防災対策の主対象である市民が構成員となっていない。市民参画を図るべきではないか。
- 市長** 今後、他市の状況等も参考に、条例改正が必要かどうかを含め検討してまいりたい。
- 問** 市民に防災情報を周知するための防災行政無線の整備が必要だが、どうか。
- 市長** 同報系の防災行政無線の整備は急務。早期に整備したい。
- 問** 災害時の市内71箇所の避難施設の耐震化は最優先の課題だが、どうか。
- 市長** 小・中学校や公民館福祉センターについて、第一次耐震診断後、耐震化推進計画を策定する。
- 問** 市内に相当数ある災害危険箇所への具体的防止策は図られているか。



2004年(平成16年)の台風18号被害

#### その他の質問項目

急増する救急需要への対応について  
市の審議会・委員会や市管理職に女性の登用を

### 産学官連携で地域振興を！ 学校にスクールポリスを！

重川 恭年やすとし（新人クラブ）

- 問** 我がまちの活性化策として、産学官共同の地域ビジネスやブランドの開発ができないか。
- 市長** 地場産業センターで今年度取り組んでいく。
- 問** 本市に不足しているものは高度教育機関や研究施設などと思うが、
- 市長** ご指摘のとおりですが環境的に難しい、今後検討していきたい。
- 問** 地場産業センターでの取り組み状況はどうか。
- 産業振興部長** 熱心に取り組まれているようだ。要望 共同施設や事業展開の今後に期待したい。
- 問** 子どもの事件、事故が多発している。起きてからの責任追及よりも、事前の防止策が必要だ。団塊世代の経験豊富な人材をスクールポリスとして活用したらいかかが。
- 教育長** ご指摘のとおり事前のサインを見逃さないことが重要と認識している。学校補助員制度でカウンセラーや少年安全サポーター等を配置している。
- 問** 事件、事故はどの程度発生しているか。
- 教育長** 暴力、傷害、不登校など211件、いじめ等48件、交通事故等51件である。
- 問** 防府市から子どもの事件、事故を絶対に出さない気概で事前防止策を講じてもらいたい。
- 教育長** サポーター等の増員を要求し、スクールポリス制度も研究する。



元気に通学する子どもたち

### 防府市の観光振興について

斎藤 旭（民友会）

- 問** 現在修復中の英雲荘の今後の活用方法は？
- 市長** 英雲荘は、事業費約6億円かけて現在進ちよく率約65%、毎年5千万円ペースで平成22年までに完了予定で、活用方法は、今年度内に検討委員会を予定している。
- 要望** 英雲荘の活用と茶道の普及を目的にポラントシアによる個人向けの茶席を設けてほしい。
- 問** どんな観光のまちづくりを目指すのか、市長の観光ビジョンは？
- 市長** 防府を行きたいまち、住みたいまちをイメージし、来年度旧山陽道南側の道の完成を契機に天満宮、国分寺、毛利邸のエリアを中心に歴史を生かした魅力ある観光ルートにしたい。
- 問** 観光まちづくりには強力なリーダーの育成が必要と思うが？
- 産業振興部長** 観光協会を取り組みを支援。また、ポラントシアの観光案内人育成に努めております。
- 問** まちの駅の設定目的や場所・運営方法は？
- 市長** 設置目的は観光情報案内やイベントの開催、休憩所を備え地域特産物の販売等、地域コミュニティの拠点としたい。運営は「街づくり会社」方式やNPO団体など民間を想定、設置場所等は、来年度に民間も加えた協議機関で検討したい。
- 問** 道の駅とまちの駅の違いは何か？
- 市長** 道の駅の設置者は市町村です。まちの駅は行政・民間問わず設置が可能という利点があります。
- 要望** まちの駅の施設は、市内の歴史的建造物を活用してはいかかが。



歴史的建造物であるJA防府とくち華城支所

### 緊急通報装置を新システムに 旧多々良 学園高校 運動場を市民に開放を

三原 昭治(新人クラブ)

**問** 一人暮らしの高齢者などを対象とした急病時や災害時に対応するための緊急通報装置貸与事業の設置状況と実態は。

**市長** 約620台設置。平成18年11月末現在で、消防署への通報は69件。

**問** 通報の内訳とその内容はどうなっているのか。

**消防長** 救急車の出動が27件で、うち不搬送が14件。通報の大半が誤報。

**問** 救急車の1回出動にかかる経費と、目立つ誤報をどう思うか。

**消防長** 出動経費は約8万3千円。一般の救急出動も年々増加しており、他の急病者の対応に支障が出るのが考えられる。

**問** 第1、2協力者への通報実態とその内容は。

**健康福祉部長** 実態は把握していない。

**問** 実態を把握しないで事業が出来ないと思うが、これらの問題が解決でき、県内17市町で導入

している健康相談や会話など日常生活支援も行う「緊急通報・生活サポートシステム」の導入を。

**健康福祉部長** 現行システムで拡充を考えている。

**問** 旧多々良学園高校に貸与していた運動場は放置されたままで、市民に開放し有効利用を。

**市長** 防球ネットの破損や私道であることから利用は難しく、同校跡との一体利用が有効と考えている。

**問** 防球ネットは修理すればよいこと。私道は公衆用道路で使用は可能

で、一体利用の用途も立っておらず、その間でも有効利用すべきだ。

**市長** 同校所有者に打診して今後の活用について早急に協議したい。



### 展示コーナーの拡大を 「ふるさと考古館」(仮称)

田中 健次(市民クラブ)

**問** 市は旧図書館を「ふるさと考古館」(仮称)として改修し、出土遺物等の収蔵庫、展示コーナー、文化財講座等の生涯学習スペースを設置する計画です。

しかし、素案では収蔵庫が広くとられ、展示コーナーは旧図書館の延床面積の6%(180㎡)しかありません。従来の児童書、一般書のコーナー(600㎡)程度まで拡大すべきでは？

**教育次長** 文化財の出土遺物は、周防国跡発掘事務所のアトリエ倉庫ほか2か所に分散保管され、不安な状況でした。遺物の収蔵を第一の目的としており、年々出土する遺物保存のため展示コーナーは限られます。企画展では生涯学習スペースも利用したい。

**問** 旧図書館は、外壁カラータイルのグレードの高い建物で、収蔵庫では



納得できません。収蔵庫を別に新設すべきでは？

**教育次長** 旧図書館は収蔵を第一とし、収蔵庫新設の計画はありません。

**問** 刊行物、参考図書、古文書等の公開、閲覧を可能とすべきでは？

**教育次長** 2階に閲覧コーナーを設け、希望に応じていきます。

**要望** 市長は、市長選挙のマニフェストで、旧図書館をふるさと歴史資料館にする。としています。収蔵庫ではなく、展示コーナーを確保し、市民の期待に添えてほしい。

**その他の質問項目**  
交通バリアフリー構想  
JR防府駅にエレベーター設置を

### 犬の登録と狂犬病予防注射について

山下 和明(公明党)

**問** 狂犬病を撲滅させるため、我が国では狂犬病予防法を制定し、飼い犬の登録と年一回の予防接種、放し飼いの禁止、野犬の捕獲、輸出入動物の検疫については国を挙げて防疫体制をとっています。

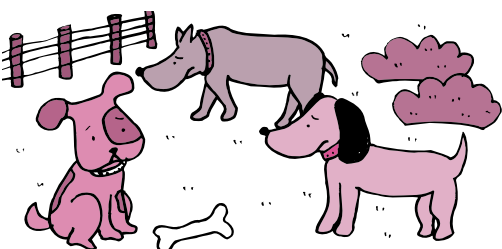
しかし、海外からの犬の輸入は増加傾向にあることから、日本でも狂犬病の危険が無くなったとはいえない。

そこで現在、犬の登録数と接種率はどうか、また未登録の犬を含めた接種率はどの程度と推定しているのか、接種率向上への取り組みは、登録、接種時期の前に周知ポスターを設置してはどうか。

**市長** 犬の登録頭数は7,804頭、接種率は67.8%です。ここ5年間の推移は、登録頭数は増加傾向、しかし予防注射頭数は横ばい状況で

す。全国的には未登録犬を含めた予防接種率は50%を切っているといわれている。予防注射の啓発活動は努めている。今後とも向上をはかりたい。ポスターについては配布枚数を増やしていきたい。

**その他の質問項目**  
野犬への対応について  
学校所蔵の貴重な品々の保護について  
学校所蔵の芸術品や文  
化的資料の公開展示に  
ついて





## 海岸整備と

### 富海海水浴場への進入路について

平田 豊民あつひと（政友会）

**問** 海面上昇の状況と高潮対策としての対応は？

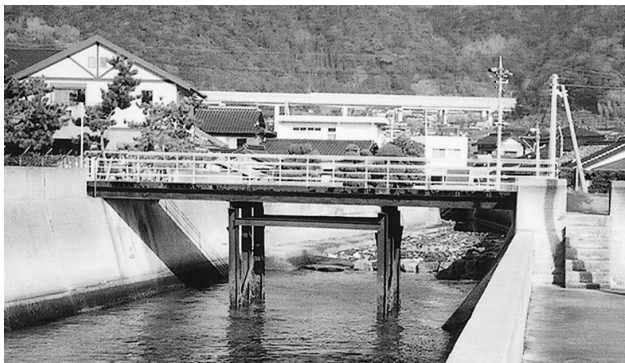
**市長** 徳山海上保安部で公表された資料によれば

近隣の徳山、広島、呉の年平均潮位は上昇傾向にあることが読み取れます。これらことから、海面上昇は近年顕著な傾向となっております。

富海漁港につきましては平成19年度の津波、高潮危機管理対策緊急事業で護岸補強、門扉改修、樋門改修を行う予定とし、国、県に補助採択をお願いしております。

**問** 東側からの海水浴場への進入路となる橋は、仮橋のままですが、今後はどうなるのか。

**土木都市建設部長** この橋は、設置時から、生活道路として地域の皆様方に利用され、又夏には、海水浴場の



利用客の進入路として、大変重宝されており、仮橋のまま現在に至っております。

今後は、この仮橋が、山口県が管轄する海岸保全区域内にあることから、県と協議を進めるとともに、仮橋の状況などを踏まえながら、架け替え等の方策を、研究してまいりたいと考えております。

## 一般・特別会計決算特別委員会の報告

平成17年度一般会計決算への質疑に対する答弁の主なものは次の通りです。

三位一体改革の影響額は、国庫補助負担金の廃止・縮減が約1億3千万円、税源移譲分は約4億1千万円の増です。また、地方交付税は、普通交付税で約2億5千万円の減少となっております。

市債残高は、平成17年度末で約391億円、基金残高は、約78億2千万円です。将来の廃棄物処理施設や新体育館の建設などの大型事業に対応できるよう、市債の発行は抑制し、基金の積み立てを行っています。

自治体の財政状況を反映する実質公債費比率は、15.7%で、県内で3番目に良い状況ですが、これが18%を超えると、起債が許可制となるため、十分に注意を払う必要があります。

「生活バス路線運行費補助金は、年々増加の状況にあるので、補助金のあり方についての結論を早い時期に出してほしい。」との要望がありました。学校支援員の15名の配置は、学校現場の実態を調査し決定しています。

平成17年度一般会計決算の収支状況

区 分	金 額
(A) 歳入金額	389億9,300万4,054円
(B) 歳出金額	380億1,253万8,009円
(C) 歳入歳出差引額(形式収支) (A)-(B)	9億8,046万6,045円
(D) 翌年度へ繰り越すべき財源	1億4,746万2,125円
(E) 実質収支 (C)-(D)	8億3,300万3,920円
(F) 前年度実績収支	18億7,124万1,564円
(G) 単年度収支 (E)-(F)	10億3,823万7,644円
(H) 基金への実質積立額	4億 583万4,632円
(I) 実質単年度収支 (G)-(H)	6億3,240万3,012円

歳入歳出差引額(形式収支)(C)は、約9億8,046万円になりますが、継続事業等で翌年度に繰り越すべき財源(D)を差し引いた実質収支(E)は、約8億3,300万円となります。

前年度の実質収支(F)は、約18億7,124万円でしたから、単年度で見れば約10億3,823万円(G)の赤字となりますが、基金へ積み立て額(H)を考慮すると、実質の単年度収支(I)は、約6億3,240万円の赤字です。

母子家庭高等技術訓練促進費は、7件の応募があり、内容は、看護師、保育士、美容師等でした。委員から、「この制度は母子家庭の方々が、知識や技術の習得によって自立をする制度なので、今後、さらに制度を充実してほしい。」との要望がありました。

売をされる方にとって、さらに借りやすい制度になるよう、今後検討してほしい。」との要望がありました。共同排水路施設整備費は、住居戸数の要件を満たしていない要望が多くあり、実施されていませんので、制度のPRはもう少し必要だと考えています。委員から、「市民にとってもっと利用しやすいものになるよう研究してほしい。」との要望がありました。

# 常任委員会の報告

## 総務委員会

一般会計補正予算は、歳入では、本年度の交付額が決定した地方特例交付金及び、発行可能額が確定した減税補てん債の補正と財団法人自治総合センター自治宝くじ助成金が計上されています。

歳出では、地域振興費でコミュニティ助成事業として華城地域の収納庫やテント等の備品整備に要する経費が助成金として計上されています。

## 教育民生委員会

一般会計補正予算は、民生委員児童委員協議会助成事業補助金等の単価が下がったため減額補正がされています。また、自治会一斉清掃に伴う土砂等の量が例年より多かったため、土砂等収集運搬委託経費が増額計上されて



います。

旧図書館を(仮称)ふるさと考古館とするため、国府跡発掘調査事務所の遺物搬入の経費が計上されています。

図書館へ5,210万円の指定寄付金があり、内210万円を今年度の図書購入費に充て、残額の5,000万円は来年度以降に図書購入費に充てるとの説明がありました。

また、後期高齢者医療の事務を処理するための山口県後期高齢者医療広域連合設立のための経費が計上されています。「この制度では、75歳以上の方々の負担が増大します。その基盤となる広域連合を作るための予算であるため認められない。」との反対意見がありましたが、賛成多数で承認されました。

### 後期高齢者医療制度

平成20年4月から始まる後期高齢者(75歳以上)を対象とする独立した新たな医療制度で、後期高齢者の保険料(1割)、現役世代(国保・被用者保険)からの支援(約4割)及び公費(約5割)を財源とします。

後期高齢者の保険料徴収は市が行いますが、財政運営は県単位で全市町が加入する広域連合が実施します。

国民健康保険事業特別会計補正予算は、無受診世帯表彰制度の廃止に伴う減額補正や、人間ドック受診者数の増加に伴う人間ドック助成のための経費が計上されています。人間ドックは利用者負担が2割から1割に引き下げら

れたため利用者が増えたとの説明がありました。

## 経済委員会

一般会計補正予算では、富海漁港集落防災安全施設整備工事を、単独県費補助事業として実施する予定でしたが、補助率の高い国の津波高潮危機対策緊急事業に乗り換えるため、本年度の事業費が減額補正されています。



農免農道小野牟礼地区の県事業負担金については、事業実施区域内に遺跡があることから埋蔵文化財の発掘調査を行うための経費の市負担額が計上されています。

また、11月28日に所管事務調査を実施し、防府市の中小売商業の現況と振興対策の取り組みについて調査研究を行いました。

## 建設委員会

一般会計補正予算では、歳出の主なものは、市道坂本真尾線の坂本跨線橋耐震補強工事が、事業の見直し等により実施が延期されたことによる減額補正や、中関港3号岸壁に隣接する市有地の保税地域指定に伴い、フェンス及び照明施設設置工事費の増額補正が計上されています。

また、災害復旧費として、豪雨による市道中浦大久保線の、被災箇所への復旧に要する経費が計上されています。歳入については国庫支出金として、土木施設災害復旧費の増額補正等が計上されています。

公共下水道事業特別会計補正予算は、汚水管渠布設工事の進ちょくにあわせた、効率的な面的整備を進めるための工事請負費の増額補正や、工事発注業者の倒産に伴う国庫補助金返還金等が計上されています。



中関3号岸壁隣接市有地

# 視 察 報 告

## 総務委員会

10月23日から25日に市民参画、市民協働の取り組みについて行政視察を行いました。

神奈川県大和市では、市民が中心となって、自治体運営の基本理念や仕組みを定めた自治体の憲法とも称される「自治基本条例」を策定し、平成17年4月から施行しています。また、自治会をはじめ、様々な組織や地域の人々が連携・協力して、豊かな地域づくりを進める独自の地域自治システムとして「市民自治区」を設置していました。

神奈川県横須賀市では、市民が中心となって「市民協働推進条例」を策定し、市民と行政がパートナーとして市民協働のまちづくりをすすめており、様々な施策で市民の自主的な活動を促進して、市民の参加意識の高揚と多様な交流のあるまちづくりに取り組んできていました。

滋賀県守山市では、「市民1000人委員会」を設置して、市の基本的な施策の企画立案の段階で広く市民の意見やアイデアを取り入れ、また、委員会は自主研究を行い、政策提言も行っていきます。

防府市では、「市民参画懇話会」での協議が始まりました。委員会も市民参画を取り上げていきます。



## 経済委員会

10月24日・25日に観光振興対策と中心市街地活性化、地産地消推進の取り組みについて行政視察を行いました。

石川県輪島市は、輪島塗と朝市が有名な街ですが、観光客数が年々減少傾向にあり、平成3年度に年間約260万人あった観光客は平成17年度では約120万人となっています。この状況を打開するために、大手旅行業界出身者を招いて、観光推進プロジェクト室を設置し、さまざまな取り組みが行われています。

また、中心市街地の活性化では、まちづくり総合支援事業として、県事業の都市ルネッサン事業、市の事業として街並み環境整備事業が実施されており、街並みが統一され、非常にきれいな街となっています。



整備された輪島の街並み

富山県砺波市では、学校給食に地元野菜を利用する砺波型といわれる地産地消推進に取り組んでおられ、学校給食における地元野菜等の供給率が約20%となっています。計画的な付付けや営農組合など地域との連携で、年間供給体制が確立されています。また、学校給食センターと連携して子どもたちに地元産野菜を認識させ、農業に関心をもたせる食農教育にも積極的に取り組んでいます。

## 交通網整備促進 対策特別委員会

11月13日から15日に交通バリアフリー、コミュニティバス等について行政視察を行いました。

福井県敦賀市では、平成16年12月に交通バリアフリー基本構想を策定し、重点整備区域の約300ha内を順次整備を進めています。

石川県金沢市の新金沢市総合交通計画は、自動車に過度に依存する交通体系を見直し、人中心の交通体系へと意識を転換し、公共交通機関を優先する環境への負荷が少ない交通体系をめざすものです。ふらっとバスは、細街路等を走行する短距離、少量多頻度、巡回型で公共交通不便地域を運行するコミュニティバスシステムです。

福井県鯖江市のコミュニティバス運行事業は、11路線で実施されており、市内全域をカバーしています。



金沢市のふらっとバス

市民の足の確保、乗用車利用の抑制による環境保護、福祉施策の充実、商店街の活性化等をめざして、市民参加と協働で全市的な利用促進運動を進めています。

特別委員会ではコミュニティバスや総合交通体系について、引き続き調査し協議を進めていきます。

## 中心市街地活性化 対策調査特別委員会

11月14日・15日に長野県飯田市で中心市街地再開発事業について、愛知県豊川市で市街地活性化対策事業について行政視察を行いました。飯田市での視察内容の概略を報告いたします。

飯田市の市街地再開発事業は、市内の中学生が中心となって管理している「りんご並木」をふれあい軸とし、その周辺で実施されています。再開発ビルが2棟建ち、うち1棟には、福祉事務所のほか、住民票の窓口などの諸証明が受けられる市役所の窓口が設置され、多くの市民に利用されています。また、市民有志の団体が主催するイベントも多岐にわたって開催されるなど、中心市街地の活性化に市全体で取り組んでいます。

今後は、人口の減少や若年層の流出による、市街地の空洞化に歯止めをかけるための施策が必要となるようです。

特別委員会では中心市街地の整備と商業活性化に向けて、引き続き調査し協議を進めていきます。



りんご並木の三連蔵

# 議会日誌

## 11月

- 6日 勉強会(景観法)
- 9日 議会運営委員会
- 10日 会派会長会議
- 13日 交通網整備促進対策特別委員会行政視察  
(~15日)
  - ・交通バリアフリー基本構想(敦賀市)
  - ・総合交通計画と金沢ふらっとパス(金沢市)
  - ・コミュニティバス運行事業(鯖江市)
- 中心市街地活性化対策調査特別委員会行政視察  
(~15日)
  - ・中心市街地再開発事業(飯田市)
  - ・中心市街地活性化対策事業(豊川市)
- 17日 公有地公募検討委員会報告会  
勉強会(暴走行為等の根絶の促進に関する条例)
- 24日 教育民生委員会(所管事務調査)
  - ・清掃事業 ・文化財保護 ・新体育館建設
- 28日 経済委員会(所管事務調査)
  - ・中小小売商業の活性化について
- 29日 議会運営委員会  
広報編集委員会
- 30日 勉強会(補正予算、条例改正等)

- 教育民生委員会(所管事務調査)
  - ・新体育館建設
- 21日 12月定例議会閉会  
広報編集委員会

## 1月

- 10日 広報編集委員会
- 15日 公有地公募検討委員会報告会
- 18日 広報編集委員会
- 26日 広報編集委員会
- 30日 山口県市議会議員  
研修会(柳井市)



## 3月定例議会の予定

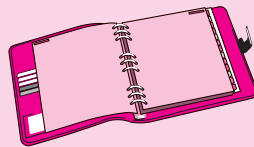
- 2月23日 本会議(開会)
- 26日 常任委員会(総務委員会、教育民生委員会  
経済委員会、建設委員会)
- 28日 本会議(委員長報告、市長施政方針演説)
- 3月 5日 本会議(新年度予算審議)
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 12日 常任委員会(総務委員会)
- 13日 常任委員会(教育民生委員会)
- 14日 常任委員会(経済委員会)
- 15日 常任委員会(建設委員会)
- 23日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は、午前10時です。  
なお、日程は変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

## 12月

- 4日 12月定例議会開会  
広報編集委員会
- 5日 公有地公募検討委員会報告会
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)  
全員協議会(公有地公募検討委員会の経過報告)
- 13日 本会議(一般質問)  
議会運営委員会
- 15日 総務委員会  
経済委員会
- 18日 教育民生委員会  
建設委員会



- (委員長、副委員長)
- 木村一彦 横田和雄
- 松村学 平田豊民
- 田中健次 原田洋介

### 議会広報編集委員会

今年発行の「ほうふ市議会だより」は、次のメンバーで編集いたします。市民の皆様にご覧いただけます。やさしい紙面づくりに努力しますので、よろしくお願いたします。

詳しくは『防府の文化財』『防府の木喰仏』、『防府市史資料』(いずれも防府市教育委員会発行)をご覧ください。市ホームページの「ほうふMuseum歴史館」の「防府の文化財」でもご覧いただけます。

詳しくは

個人蔵	阿弥陀寺	極楽寺	極楽寺
	普門寺	定念寺	

『防府の文化財』『防府の木喰仏』、『防府市史資料』(いずれも防府市教育委員会発行)をご覧ください。市ホームページの「ほうふMuseum歴史館」の「防府の文化財」でもご覧いただけます。

2年目となり、今年の「ほうふ市議会だより」の表紙は、あまり知られていない防府の文化財を取り上げていきます。

第1回目は「防府の木喰仏」です。木喰(1718~1810年)は江戸時代の行脚僧で、微笑仏といわれる独特の笑いをもった仏像を多く作りました。82歳の木喰は、寛政11年(1799年)の1月から4月までの3か月余に防府で11体の彫像を残しました。その内のバラエティに富んだ6体を紹介させていただきます。

### 編集後記